

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 大  
 コード番号 6059 URL http://www.uchiyama-gr.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 山本武博 (TEL) 093-551-0002  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,579	—	924	—	922	—	477	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 476百万円(—%) 24年3月期第2四半期 100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	106.58	105.68
24年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,940	9,689	38.9
24年3月期	21,365	8,047	37.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,689百万円 24年3月期 8,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	100.00	—	20.00	120.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、平成23年11月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、平成23年12月7日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、平成24年3月期の第2四半期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。なお、平成24年3月期の期末配当金は当該株式分割後で記載しております。これらの株式分割の影響を調整した場合の期末配当金については、後述の「株式分割に伴う配当の状況の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,166	12.2	2,217	10.4	2,087	△12.0	1,101	△39.6	243.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	4,576,200株	24年3月期	3,666,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	35株	24年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,484,753株	24年3月期2Q	3,666,000株

(注) 当社は、平成23年11月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、平成23年12月7日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、24年3月期2Qの期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

株式分割に伴う配当の状況の遡及修正

当社は、平成23年11月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、平成23年12月7日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の配当の状況は、以下のとおりであります。

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
		円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	146	8.0
25年3月期	—	20.00					
25年3月期(予想)			—	20.00	40.00		16.4

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかに持ち直しの動きが見られるものの、欧州経済減速の問題や中国経済の伸びの鈍化、円高の長期化などから、先行きに対する不透明感が払拭できない状況となりました。また、7月には九州北部地方で集中豪雨が発生し当該地域に大きな被害が発生したほか、7月から8月にかけてのロンドンオリンピックの開催に高い関心が寄せられたことなどから、特に集客面への影響が心配されました。このような経営環境下におきまして、当社グループは、各事業セグメントにおいてそれぞれの課題の抽出と対策を積極的に行い改善をはかることで、目標達成に努めました。また、経費の見直しなどによるコスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化をはかりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,579,242千円、営業利益は924,071千円、経常利益は922,067千円、四半期純利益は477,976千円となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①介護事業

介護事業におきましては、7月に福岡県福岡市南区に「ヘルパーステーションめぐり」、8月に千葉県千葉市中央区に介護付有料老人ホーム(80床)とショートステイ(10床)の併設型施設「さわやかゆう輝の里」を新規開設いたしました。これらにより、当第2四半期末時点での営業拠点は48カ所95事業所となりました。また、既存施設におきましては、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携強化をはかり、新規入居者の紹介等を推進したほか、各施設において夏季の行事として夏祭りを開催し、地域の住民の方々と施設入居者との交流をはかるなどしました。この結果、売上高は4,245,356千円、セグメント利益は500,634千円となりました。

#### ②カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、8月に兵庫県姫路市に「コロッケ倶楽部姫路店」(29室)及び福岡県北九州市小倉北区に「コロッケ倶楽部霧ヶ丘店」(25室)、9月に茨城県龍ヶ崎市に「コロッケ倶楽部龍ヶ崎店」(26室)を新規開店いたしました。これらにより、当第2四半期末時点での店舗数は84店舗となりました。また、既存店舗におきましては、飲食メニューの内容を充実させると同時に、コースやセットメニューの店頭での販促を強化し単価の向上をはかったほか、6月より開始した65歳以上向けの「さわやかゴールドメンバーカード」の入会促進を行うなどして集客の増加に努めました。この結果、売上高は4,042,303千円、セグメント利益は717,271千円となりました。

#### ③飲食事業

飲食事業におきましては、既存店舗の集客増加に注力いたしました。女性客の利用を促進する目的で「女子会」での割引サービスを実施したほか、月替わりメニューを充実させ、顧客に飽きさせない工夫をすることでリピート率の向上をはかりました。また、従業員のサービスレベルの向上に努め、付加価値向上をはかりました。この結果、売上高は1,038,009千円、セグメント利益は115,306千円となりました。また、当第2四半期末時点の店舗数は26店舗となりました。

④その他

その他におきましては、ホテル事業において、夏季休暇期間を中心に宿泊客の増加をはかったほか、長期滞在の方には、温泉療法を目的とした湯治プランをおすすめするなどしました。不動産事業では、賃貸マンションの管理業務などを中心に行っております。この結果、売上高は253,572千円、セグメント利益は26,050千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ3,575,069千円増加し、24,940,694千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より2,648,474千円増加し、11,037,966千円となりました。主な要因は、現金及び預金が増加したことです。

固定資産は、前連結会計年度末より926,595千円増加し、13,902,728千円となりました。主な要因は、新規の施設及び店舗の開設に伴う建物及び構築物が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,932,341千円増加し、15,250,758千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より333,297千円増加し、6,919,709千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末より1,599,044千円増加し、8,331,049千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より1,642,727千円増加し、9,689,936千円となりました。主な要因は、株式上場に伴い、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は38.9%となりました。

また、資金の流動性については、当第2四半期連結会計期間末における流動比率は、159.5%となっており、今後、十分な流動性を確保するために、比率を高めてまいります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて2,257,470千円増加し、7,411,541千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,166,536千円となりました。収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益が921,639千円、減価償却費の計上が573,817千円であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額が675,068千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,511,874千円となりました。収入の主な内訳は定期預金の払戻による収入が89,000千円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が1,225,279千円、定期預金の預入による支出が247,846千円、敷金、保証金及び建設協力金の差入による支出が68,296千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2,602,808千円となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入が3,415,878千円、株式発行による収入が1,239,328千円であり、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出が1,521,150千円、割賦債務の返済による支出が298,217千円、配当金の支払額が73,320千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間に与える影響は軽微であります。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,594,532	9,187,548
売掛金	962,222	1,030,958
商品	61,002	62,142
販売用不動産	14,683	14,683
貯蔵品	39	39
その他	762,791	753,698
貸倒引当金	△5,779	△11,105
流動資産合計	8,389,492	11,037,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,221,575	6,100,748
土地	2,910,323	3,017,294
その他(純額)	1,674,197	1,543,479
有形固定資産合計	9,806,096	10,661,522
無形固定資産		
投資その他の資産	41,002	48,343
その他	3,220,927	3,283,777
貸倒引当金	△91,893	△90,916
投資その他の資産合計	3,129,033	3,192,861
固定資産合計	12,976,133	13,902,728
資産合計	21,365,625	24,940,694
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	297,227	255,445
短期借入金	2,405,800	2,283,300
1年内返済予定の長期借入金	1,219,656	1,655,755
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	701,406	588,180
賞与引当金	127,047	123,649
ポイント引当金	156,083	222,925
その他	1,644,190	1,755,452
流動負債合計	6,586,412	6,919,709
固定負債		
社債	140,000	122,500
長期借入金	5,137,853	6,596,627
資産除去債務	—	13,837
その他	1,454,151	1,598,084
固定負債合計	6,732,004	8,331,049
負債合計	13,318,416	15,250,758

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	725,600	1,345,264
資本剰余金	1,179,557	1,799,221
利益剰余金	6,149,466	6,554,123
自己株式	—	△42
株主資本合計	8,054,623	9,698,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,081	△5,760
繰延ヘッジ損益	△4,333	△2,869
その他の包括利益累計額合計	△7,415	△8,629
純資産合計	8,047,208	9,689,936
負債純資産合計	21,365,625	24,940,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,579,242
売上原価	8,052,643
売上総利益	1,526,598
販売費及び一般管理費	
給料手当	138,509
賞与引当金繰入額	5,577
貸倒引当金繰入額	5,326
その他	453,114
販売費及び一般管理費合計	602,527
営業利益	924,071
営業外収益	
受取利息	4,649
受取配当金	996
受取手数料	39,877
補助金収入	36,805
その他	59,987
営業外収益合計	142,316
営業外費用	
支払利息	98,010
その他	46,310
営業外費用合計	144,320
経常利益	922,067
特別損失	
固定資産除却損	427
特別損失合計	427
税金等調整前四半期純利益	921,639
法人税、住民税及び事業税	579,186
法人税等調整額	△135,523
法人税等合計	443,662
少数株主損益調整前四半期純利益	477,976
四半期純利益	477,976

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	477,976
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,678
繰延ヘッジ損益	1,463
その他の包括利益合計	△1,214
四半期包括利益	476,761
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	476,761
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	921,639
減価償却費	573,817
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,348
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,397
ポイント引当金の増減額(△は減少)	66,841
固定資産除却損	427
受取利息及び受取配当金	△5,645
支払利息	98,010
売上債権の増減額(△は増加)	△68,736
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,140
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,400
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,781
その他	392,514
小計	1,931,497
利息及び配当金の受取額	2,946
利息の支払額	△92,838
法人税等の支払額	△675,068
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,166,536</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,225,279
無形固定資産の取得による支出	△13,739
定期預金の預入による支出	△247,846
定期預金の払戻による収入	89,000
敷金、保証金及び建設協力金の差入による支出	△68,296
敷金、保証金及び建設協力金の返戻による収入	145
貸付けによる支出	△28,932
貸付金の回収による収入	21,621
その他	△38,547
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,511,874</b>

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△122,500
長期借入れによる収入	3,415,878
長期借入金の返済による支出	△1,521,150
社債の償還による支出	△17,500
リース債務の返済による支出	△1,161
割賦債務の返済による支出	△298,217
株式の発行による収入	1,239,328
自己株式の取得による支出	△42
配当金の支払額	△73,320
その他	△18,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,602,808
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,257,470
現金及び現金同等物の期首残高	5,154,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,411,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,245,356	4,042,303	1,038,009	9,325,669	253,572	9,579,242	—	9,579,242
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,042	19,471	20,514	32	20,546	△20,546	—
計	4,245,356	4,043,345	1,057,481	9,346,183	253,605	9,599,788	△20,546	9,579,242
セグメント利益	500,634	717,271	115,306	1,333,212	26,050	1,359,263	△435,191	924,071

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ホテル事業及び通信事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△435,191千円の内容は、セグメント間取引消去224,356千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△659,548千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月20日に株式会社大阪証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)に上場いたしました。上場に当たり、平成24年4月19日に公募増資による払込が完了し、資本金及び資本準備金はそれぞれ612,720千円増加しております。また、大和証券株式会社を割当先とする第三者割当増資による株式の発行を行い、平成24年5月23日に払込が完了しており、資本金及び資本準備金はそれぞれ6,944千円増加しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ619,664千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金は1,345,264千円、資本剰余金は1,799,221千円となっております。

## (7) 重要な後発事象

平成24年10月19日開催の当社取締役会において、子会社である株式会社さわやか倶楽部が同社の子会社である株式会社さわやか天の川を吸収合併することを決議いたしました。

### I 合併の目的

当社グループでは、これまで、株式会社さわやか倶楽部及び株式会社さわやか天の川において介護施設の運営を中心とした介護事業の展開を行ってまいりました。

この度、当社グループ全体としての意思決定を迅速化すること及び、経営資源を集中することで効率的な運営を実現する目的で、今回の吸収合併を行うことといたしました。

### II 合併の要旨

#### 1. 合併の日程

合併決議取締役会	平成24年10月19日（金）
合併契約締結	平成24年10月19日（金）
合併承認株主総会	開催いたしません（注）
合併の予定日（効力発生日）	平成24年12月1日（土）（予定）

（注）本合併は、存続会社である株式会社さわやか倶楽部においては、会社法第796条第3項に定める簡易合併、消滅会社である株式会社さわやか天の川においては、会社法第784条第1項に定める略式合併に該当するため、両社の株主総会による吸収合併契約の承認を得ずに行う予定です。

#### 2. 合併方式

株式会社さわやか倶楽部を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社さわやか天の川は解散します。

#### 3. 合併比率ならびに合併交付金

株式会社さわやか倶楽部は、株式会社さわやか天の川の全株式を所有しており、合併比率の取り決めはありません。また、合併による新株式の発行及び資本金の増加、ならびに合併交付金の支払いはありません。

### III 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。